

舌掌入門 ～囃の咄

3月17日(金)
申し込み開始

受講料無料

-講義日程- 【前半】

第1回	4/14(金)	落語の歴史と批評
第2回	4/28(金)	志ん生落語
第3回	5/12(金)	圓生と「掛取万歳」
第4回	5/26(金)	正藏と芝居囃
第5回	6/9(金)	文楽と「明烏」
第6回	6/23(金)	小さんと「試し酒」

時間：16:30～18:00
(16:10～受付開始)

申込方法：

- ①ホームページの申込フォーム
(お申し込みはこちらから→)
- ②FAX (293-3382)



※各回とも先着80名まで

-講義日程- 【後半】

第7回	10/6(金)	
第8回	10/27(金)	
第9回	11/24(金)	詳細は、決まり次第
第10回	12/1(金)	ホームページに記載します
第11回	12/8(金)	
第12回	12/22(金)	

会場：

第1回～第6回

● **岐阜大学サテライトキャンパス**

(岐阜市吉野町6-31

岐阜スカイウイング37 東棟4階)

第7回～第12回

● **岐阜商工会議所**

(岐阜市神田町2-2 5階 議員総会室)

～ご連絡～

※岐阜大学サテライトキャンパスは、令和5年6月末をもって閉鎖することとなりました。

7月以降の日程につきましては、開催場所が異なりますので、お間違えの無いようお願いいたします。(裏面参照)

講師 挨拶

ひと廻りめぐったこの講座も、初心に戻るつもりで落語から開始する。

題して「舌学入門」、かつて話術（舌耕芸）によって生計を立てていた芸能者を舌耕人といい、話すことが卑下されると同時に、尊ばれていた。読者も「黙読」ではなく、「素読（音読）」の時代が長かった。明治時代の公共交通機関では、音読する乗客ばかりでさぞかしにぎやかだったであろう。今は黙読が普通となり、黙食なんて言葉も生まれている。

この講座では「話すこと-聞くこと」の復権を目指して、口（舌）と耳がダイレクトに接続されることを狙っている。もちろん、動画資料を使うが、望むらくは「聞く（聴く）こと」に意識を集中した講座にしたいと思っている。

情報科学芸術大学院大学 教授 小林 昌廣



会場

※お間違えの無いようお越しください。

第1回～第6回

● 岐阜大学サテライトキャンパス

（岐阜市吉野町6-31

岐阜スカイウイング37 東棟4階）



第7回～第12回

● 岐阜商工会議所

（岐阜市神田町2-2 5階 議員総会室）



FAX用 受講申込書

FAX送付先番号 058-293-3382

以下の通り、令和5年度公開講座＜舌学入門～嘶の咄＞に参加を申し込みます。

お名前			フリガナ	
電話番号				
メールアドレス				
住所	〒 -			
年齢・性別	☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代以上		☐ 男性 ☐ 女性	
個人情報取扱の同意	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜から他の講義や講座情報をご案内するため、お名前・住所等を利用させていただいてよろしいでしょうか。 ☐ 同意する ☐ 同意しない			

お申し込み時にいただいた個人情報は、講座担当大学等と共有させていただく場合があるほか、休講など講座に関するご連絡やコンソーシアムからのイベント情報のご案内（同意を得た方のみ）に利用させていただきます。情報は厳重に管理し、法令上の理由など特段の事情がない限り許可なく第三者への提供はいたしません。